

冬の厳しい寒さが和らぎ、春の気配が感じられるこの良き日、私たち、38名はこの学び舎を卒業いたします。来賓の皆様、先生方、在校生の皆さん、このような盛大な卒業式を開いて下さったことを、心より感謝申し上げます。

今思い返しても、この宝達高校で過ごした3年間はあっという間でした。3年前、真新しい制服に身を包み、期待と不安に胸を膨らませて迎えた入学式でした。ところが、新型コロナウイルス感染症による一斉休校のため、私たちの学校生活のスタートは6月からでした。それから補習が入った毎日7限の授業が始まりました。無我夢中で、怒涛の一学期を過ごし、体育祭・文化祭の時期を迎えました。出会って間もないクラスのみんなどお互いとまどいながら協力して準備したことを今でも鮮明に覚えています。

2年生になると、私たちにも後輩ができ、先輩という立場になりました。少しでも良い先輩でいられるよう気を引き締めました。クラスのみんなど勝利を掴むために協力しあった体育祭や球技大会も印象的ですが、実施が半年も延期され、行き先も変更されて、本当に修学旅行に行けるか心配だったことを思い出します。修学旅行は、中国・四国地方5県を廻るコースで無事実施され、世界遺産である原爆ドームや厳島神社、姫路城を実際に見ることができました。香川名物のうどんや岡山のフルーツに舌鼓を打ったことも良い思い出です。そんなふうに、少しずつ日常が戻ってきました。

そして最後の年、私は生徒会に入り、体育祭・文化祭の運営を行いました。コロナの影響で、直前になって日程の変更や競技の変更など、企画が制限されることもありましたが、当日は全校生徒の協力のおかげで、ステージも盛り上がり、成功させることができました。たくさんの苦労もありましたが、それもまた良い思い出です。

そんな思い出を共に作る事が出来た友達とも、今日でお別れです。毎日、当たり前のようにそばに居てくれた友達、一緒に笑ったり泣いたりできるのも今日で最後だと思うと、とても寂しく思います。友達と多くのことを共有しあった時間は私にとってかけがえのない宝物です。叶うなら、みんなどまだ思い出を共に作りたい気持ちもあります。しかし、明日からは、それぞれの夢を掴むため、新たな一歩を踏み出します。

在校生の皆さん、高校生活はあっという間です。今の時間を大切にしてください。また、一層勉強、部活動に励み、宝達高校の名を高めていってください。日々の感謝を忘れず、笑顔あふれる毎日を送り、皆さんが成長していくことを期待しています。

3年間背中を押してくれ、見守り続けてくださった、森田先生、高田先生を始めとする先生方。本当にお世話になりました。楽しく分かりやすい授業のおかげで、中学時代より勉強が好きになりました。また、いつも親身に接して下さい、正しい方に導いてくださって、本当にありがとうございました。

そして、18年間、私たちの1番そばで支えてくれた家族。たくさんの愛情を注ぎ、立派に育ててくれて、本当に感謝しています。朝早くに起きて準備をしてくれたお弁当、忙しい中での送迎、感謝しきれません。これから先も、迷惑をかけると思いますが、よろしくお願ひします。

最後になりましたが、宝達高校のますますの発展を願ひ、答辞といたします。

令和5年3月1日 卒業生代表